

## 第 342 回 IEC 研究会議事録

日時：2019 年 9 月 8 日（日）13:30-17:00

場所：尼崎市立立花北生涯学習プラザ

書紀：中西

出席：矢島 江見 西本 森際 高橋 岡田 河野 石川 工藤 中西 [17時から田中]

Zoom 参加：田中

欠席（届出）：広田 安谷 土佐 中谷 横山 米田

//自由報告//

1. 『MicroPython プログラミングで学ぶ情報技術』（報告&実演：高橋）
2. 『Bundle install に関する偽情報の報告』（石川）

//フォーラム//

3. (会計：河野)

・11 万円ほどの残で、参加者への補助金は、5 万位？

講演者への謝金は、例年通りで、+交通費（ただし、潤沢にないので、外部研究機関での対処が可ならお願いしたい）

・「micro:bit で学ぶプログラミング ブロック型から JavaScript そして Python へ」高橋・喜家村・稲川共著 コロナ社 ¥2200-

IEC 会員に献本 20 冊 → 4 万円立て替え金高橋へ

・「11 月 16 日(土) 情報コミュニケーション学会（於園田学園女子大学）への共催金、例年通り 1 万円」（承認）

午前中 10:00～ WS IEC として何かあれば、参加をよろしく申し上げます

午後研究会など

・(フォーラム会場：森際・西本)

「11 月 24 日(土)の会場（関西学院大学内バンケット利用：輝きの間/翼の間 共に 1F）」

13:00～16:00 於「輝きの間」

16:00～18:00 於「翼の間」

\*会場費 ¥1.35 万/プロジェクター ¥0.5 万

◇ (当日の流れ：江見)

- ・テーマ：「IEC これまでとこれから… (仮称)」
- ・総司会：江見
- ・講演：(外部)『農業 IT で人材を育てる』(小林信三先生・東京)

---cf.最近流行の SDGs の第 4 テーマが教育---

(内部の司会：中西) 中條 福田 西野 ほか

\*できるかぎり、元 IEC 会員にも呼び掛けて…

- ・食事： 会場の参加人数を把握のため、急ぐ

\*伝助で、参加確認をとる

\*来年 350 回記念

◇ 300 回記念誌 (江見が OneDrive 上で共有可能のホルダーを作成

当初 Web 上で閲覧可能の本として企画し、原稿を募集)

当日、事前に、OneDrive にある原稿を矢島がまとめた資料

(14 人から提出された原稿) を元に中西と少し検討の時間をとり、以下の

対応策を提案：

300 回と 350 回は、別々にか、合本も可か？ → 江見が それは、当然別として処理

製本には、予算が必要になるので、まずは、Web 上で、閲覧可能な本として完成させる

そのため、以下の提案：

\*当時は、入会予定の会員で、アブストラクトのみの人：割愛 (1 件)

\*当時は会員だったが、現在は、退会した人：最終完成原稿をそのまま掲載 (3 件中 2 件)

\*現在会員の人で、未完成の人：本人に、再確認して、至急、完成させる (未 3 件)

\*現在会員の人で、完成の人：念のために、本人に、再確認をしてもらう (完 11 件)

以上の手続きを経て、とりあえず、Web 上での閲覧可能状況をつくる (完予定 11+3 件)

そして、予算が確保されれば、出版の方向で検討 (例年並みなら、とりあえず 10 万円位か?)

4. 諸会連絡：

- ・ 2019/10/29(火)「港湾のしごとの魅力を知る」港湾ポリテックビジョン

(主催：港湾短大神戸校 ☎078-303-7326)

於神戸ポートオアシス(〒650-0041 神戸市中央区新港町 5 番 2 号)

13:00～（受付 12:30～） 参加費無料！（事前申し込み要）

- ・ 2019/11/16(土) 第 15 回情報教育特別委員会（教科情報合同研究会）  
於園田学園女子大学 10:00～（午前中 WS で、午後研究会）
- ・ 2019/11/24(日) <IEC フォーラム>  
於関西学院大学内バンケット 1F（輝き・翼）の間 13:00～18:00  
（交渉：森際・西本）

\*次回 10 月の IEC の会場：9 月と同じ、阪急塚口から西北方向、徒歩 10 分ほどにある<立花北・生涯学習プラザ>

5. 懇親会：17:00～ 於塚口駅北西すぐ「万」

\*\*本日の研究会で、印象・関心のあったこと 3 点\*\*

① 高橋先生の microbit を用いたプログラミング実演で、LED 点滅と、直行する交差点信号(人と車)の 2 種実演材料は、豆電球の代わりに LED の使用で、意外と安価（さすが T 先生！ありがたい）。

② 5 日の新聞記事より：

5 日午前、京浜急行電鉄の神奈川新町一仲木戸間（横浜市）の踏切で、電車とトラックの衝突事故が発生したが、新聞では、いまいち、そのような事故の発生が、なぜ起きたのかが、いまいち、よくわからなかったもので、“鉄ちゃん”こと江見さんに伺うと、実は、とんでもないことを、知らされた。詳しいことは、神奈川県警が調査にあたっているとかな…。それは、関西と関東では、AST などの危険対策におおいに違いがあるとのこと。関西では、猫が一匹通っただけでも踏切の 600m 手前から装置が自動的に作動して、踏切の前で通過電車などは、停止するようになっている。が、関東では、600m のうちの 300m から装置を手動で作動させるようになっているのだとか？ そのため、万一、衝突が生じて、運転席は、他よりも堅牢に作られているとのこと、また(\*\_\*)。

③ 石川さんが提起された問題で、考えさせられたこと。

それは、まず、ネット上などで、仮に、得られた知見があるとき、その真偽を、自分で確認できる時には、必ず動作追認をして、自分でも納得確認してから、その事実に関しての転送なり、発信をすべきだという当たり前といえば当然のことなのだが、なかなかそれが、実行されていなくて、そのまま次から次へと、事実（真偽はさだかではない）の一人歩きが始まる状況があるのだということだ！それに関係する教師たちは、必ず心する必要がある……。

以上